

# ひびきあう「日野のたから」を未来につなぐ

## 自治の力で輝くまち

### 第5次日野町総合計画基本構想の提言に向けて 公民館について熱く議論！

総合計画懇話会では、現在、中間提言に向けて議論を重ねられています。

議論の中から、町行政や各委員の公民館に対する認識、期待度がさまざまであることがわかりました。

このため、委員の認識を共通にして、話し合えるよう、第10回懇話会では役場公民館担当から公民館の経過などの説明を受け、公民館への意見、思い、質問を出し合われました。

今回は、その概要をお知らせします。



#### 日野町の公民館のあゆみと機能 (役場生涯学習課の説明)

町内各公民館は昭和30年の町村合併以後、順次整備され、「公立民営(民は住民)」で運営されてきました。特に「地域の公民館」としての住民の熱い思いがあります。全国に誇る先進的な公民館活動として、全国優良公民館表彰を必佐公民館・鎌掛公民館が受賞されています。

公民館の機能は多種多様です。地域住民が地域の課題を考え討議し、学び行動する場。文化、体育、レクリエーション活動を広める場。各種団体が連携す

#### 懇話会委員からの意見など

▼先進的と言われる公民館運営体制が重荷になってきている。その一方では社会等の変化により、重要視され、さらに地域福祉などへの期待もある。今の地域だけでなく、もっと広域で考えてはどうか？

▼これまでの公民館運営体制は、2〜3年という任期の中で役員が引き継いでいるのが現実。人材を誰が育成するのか？また育成しても役員交代すればまた一からやり直し。ずっと続けられるシステムが必要だと思つ。

▼現在の社会教育施設としての公民館を、今後、もっと機能アップし、さまざまな地域の取り組みの拠点としていきたい。

▼アパートなどの新しい住民の方々にも今後もっと参画してもらえる新しい公民館の活動が必要ではないか。新しい活動などをどのように進めていけばよいのか、また、そうした活動を的確にコーディネートする人材の育成も必要である。

▼将来のまちづくりのために、「コミュニティビジネス(※)」をうまく公民館に生かして取り組みたい。

※コミュニティビジネスとは、地域が抱える課題を地域資源を生かしながらビジネス的な手法によって解決しようとする事業のことです。

#### 只友会長(滋賀大学経済学部准教授)からの課題整理

公民館での先進的な取り組みは各自治会が中心に支えています。今後、人口減少に伴い機能しなくなるのであれば、新たな公民館の運営体制を考えていく必要があるのではないかと。

そこには、予算や専門家をどう確保し、その専門家とともにどのような公民館を目指して組織化していくのか、という次の課題がある。当然、新住民との関係づくりの議論にもつながっている。

また、これまでの社会教育における地域からの優れた取り組みを大事にし



ていこうということは今後も継続していく必要がある。

これまでの議論で、「学びあいみんなではぐくむ自治のまち」を導き出されたが、これは、「学びあいを、自治の力を高めるといふこと」と、この町の発展していく力(成長力)に結び付けよう」というもので、その議論がこの懇話会で出てきたことは大きなことである。そういったものの核としての公民館を町の自治と学びあいと町の発展の核にしていくということについて、今後、皆さんの知恵を結集していく必要があると課題を整理されました。

#### ◆問い合わせ先

企画振興課 企画人権担当  
☎065552 有線08963